

発達支援あゆみ 個別療育事業「カラフル」  
令和5(2023)年度 実施

児童発達支援 自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか	2				
	2 職員の配置数は適切であるか	2				
	3 当センターでの設備等について、バリアフリー化や情報伝達等へ配慮が適切になされているか	2				
	4 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間になっているか	2				・療育室の掃除・消毒は毎セッション後欠かさずにおこなっている。また部屋の中をどこで何をするのか分かりやすくするように区切っている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2				・職員間で支援方針を話し合い実行している。 ・職員会議で業務改善についての議題を誰でも上げることができる。
	6 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2				・できる限りニーズを聞き取り、事業の範囲でできる限りの支援ができるよう、試行している。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を公開しているか	2				
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2				
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2				・研修の機会は多く、月に1~2回は外部の研修を受けている。 ・研修を受けられる現場体制が作られている
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、こどもの課題や保護者のニーズを客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	2				
	11 こどもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2				・PEP-3の検査項目を実施している。
	12 児童発達支援計画には、「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援が設定されているか	2				
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2				・指導演を立てる際には支援計画を確認し、沿った支援ができるようにしている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	2				・常にチームで話し合っている。 ・職員と共有しながらプログラムを立てている。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2				・固定化しないようにスケジュールの流れを変更したり、毎回異なる課題をおこなっている。
16 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	2				・ご家庭やご本人のニーズに合わせてペアセッションやグループセッションをおこなっている。	

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2				
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	2				・指導案に記録し、必ず振り返りをしている。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	2				・半期に1回モニタリングを行い、保護者に説明している。
関係機関や保護者との連携	21	サービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2				・ご家庭やご本人のニーズに合わせて関係機関と連携をおこなっている。
	23	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2				
	24	こどもの主治医や協力機関と連絡体制を整えているか		2			・保護者を通じて、診察の様子を聞き取ることはある。今後、ご家庭のニーズがあれば連携をとっていきたいと考えている。
	25	移行支援として、子ども園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2				・保護者を通じて、支援計画やモニタリング報告書を共有していただいている。
	26	移行支援として、小学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	1			・進学の際に、カラフルでの支援をお伝えいただくなど、保護者を通して連携をお願いしている。 ・利用児が通う療育先と支援の情報共有をおこなっている。
	27	他の発達支援センター等との専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2				見学実習に積極的に参加している。
	28	子ども園との交流や地域の子どもと触れ合う機会はあるか		1	1		・子ども園との交流はないが、他の子ども園に通う児童と関わる機会（ペアセッションやグループセッション）を設けている。
	29	自立支援協議会や子育て支援会議等に積極的に参加しているか			2		・カラフルとしては参加していないが、あゆみの職員が参加しており、情報共有をしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2				
	31	保護者の育てる力の向上を図る観点から、保護者に対して支援を行っているか	2				・親子間で適切な関わりが持てるように、保護者に対して支援を行っている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2				
	33	児童発達支援計画を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	2				

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2				
	35	保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	2				・ニーズに合わせて保護者同士が話ししたり、情報共有できる時間をとれるように考えている。
	36	子どもや保護者からの相談や、申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合迅速にかつ適切に対応しているか	2				
	37	定期的におたより等を発行し、活動概要や行事予定等の情報を保護者に発信しているか	2				・LINEを導入し、研修などの情報を発信している。
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	2				
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2				
	40	行事に地域の子どもを招待する等地域に開かれた事業運営をしているか			2		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2				マニュアルは施設内に掲示し、確認できるようにしている。避難訓練は、機会が限られているため、利用者全員が参加することは難しいが職員は定期的に訓練している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2				避難訓練は、機会が限られているため、利用者全員が参加することは難しいが職員は定期的に訓練している。
	43	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	2				
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2				
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2				・ヒヤリハットがあった場合は、当日に作成し、事業所内で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2				・定期的に研修に参加している。 ・利用児の対応について、複数で把握し、共有し合っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2				